

2025年2月期 決算説明会資料

2025年4月

株式会社ジュンテンドー

東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード: 9835



会社概要

- 創業 明治27年10月
- 設立 昭和23年6月
- ホームセンター創業 昭和44年9月
- 事業内容 ホームセンターをチェーン展開する小売業
- 資本金 42億2,425万円
- 営業収益 443億7,605万円 (2025年2月期)
- 店舗数 122店舗 (2025年2月末時点)
(ブックセンター1店舗含む)

沿革

- 1894年 島根県美濃郡益田町(現益田市)において、順天堂薬局を創立。医薬品販売業を開始。
- 1969年 日本初のホームセンター「幸せを売るバラエティ・ストア順天堂駅前店」開店
- 1980年 新設店舗の主力を小型店舗(150坪型店舗)に変更。
- 1987年 店舗数100店を突破
- 1989年 広島証券取引所に株式上場（平成12年に東京証券取引所と合併）
- 1991年 大阪証券取引所第二部に株式上場（平成20年に上場廃止）
- 1991年 売上高300億円を突破
- 1995年 店舗数188店(最大)
- 1997年 売上高500億円を突破
- 1998年 1000坪店舗(マイン峰山店)の出店を開始
- 1999年 営業本部を広島県安芸郡へ移設開設
- 1999年 売上高526億円(最大)
- 2000年 東京証券取引所第二部に株式上場（広島証券取引所と合併による）
- 2011年 茶屋町店(岡山県倉敷市)(1,764坪)を開店
- 2017年 イエローハット4店舗を事業譲渡
- 2019年 西舞鶴モール店(京都府舞鶴市)(最大規模1,923坪)を開店
- 2019年 ドラッグストア6店舗を事業譲渡
- 2021年 経常利益22.59億円(最大)
- 2022年 東京証券取引所スタンダード市場へ移行（東証市場再編による）
- 2024年 JAしまねとの業務提携契約、JA全農との包括連携協定、
JA広島市・JA全農ひろしまとの売買取引契約を締結

当社の経営方針・事業内容

● 経営理念

地方都市、中山間地、離島の
なくてはならないインフラになろう

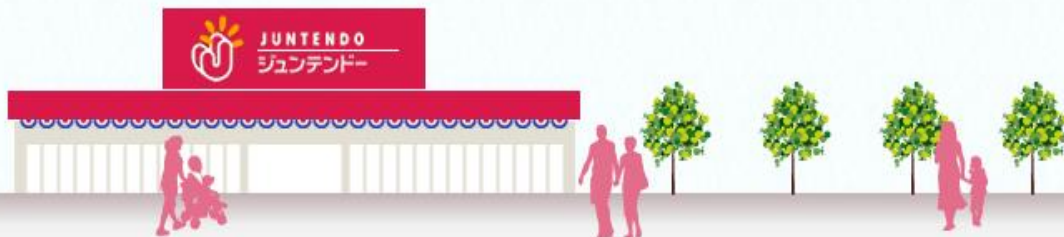
● 基軸

ホームセンターは、農業、園芸、資材、
金物、工具、ワーキングの専門店である

ホームセンター



ホームセンターは、農業、園芸、資材、金物、
工具、ワーキングの専門店を目指しています

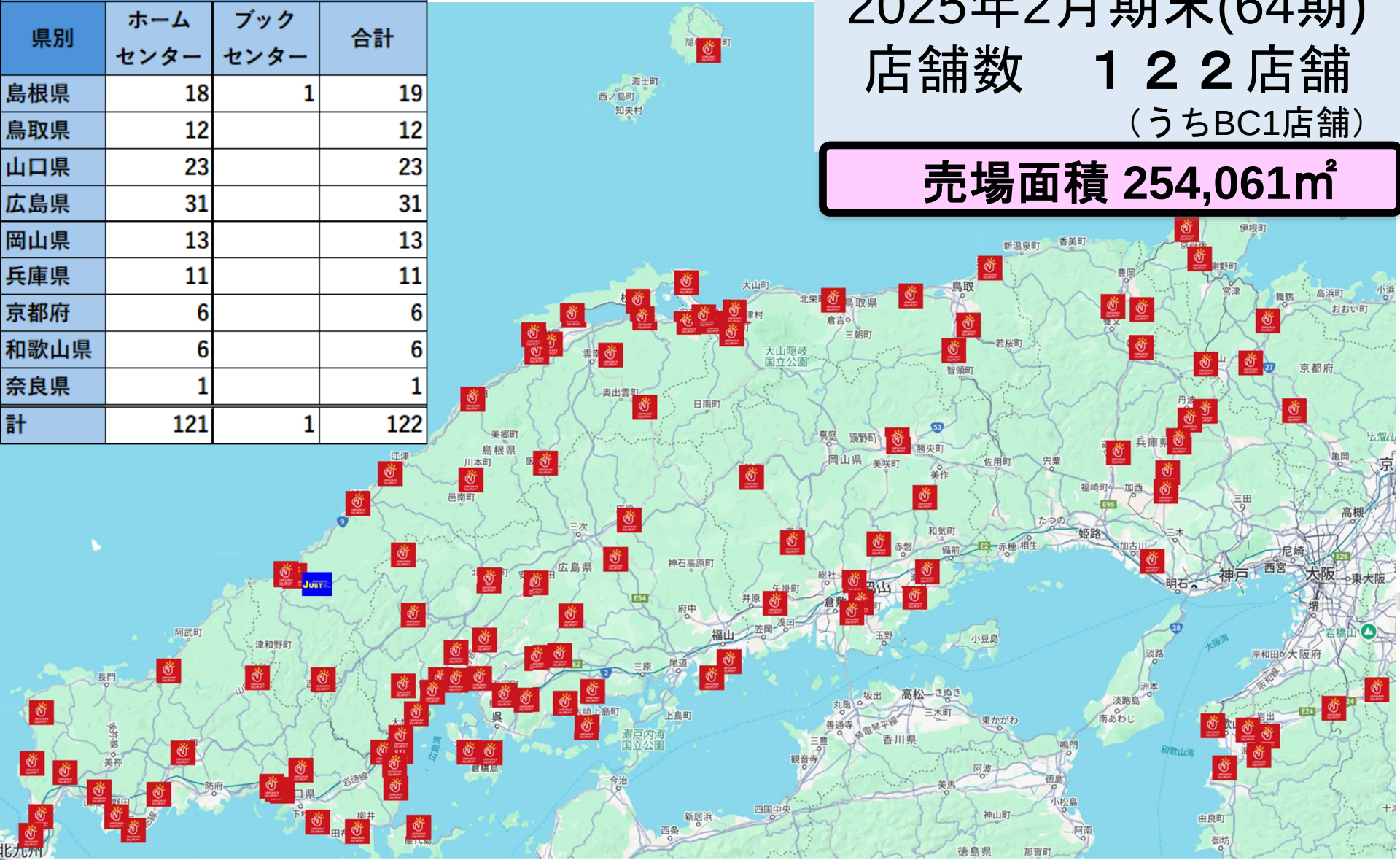


当社の店舗数・売り場面積

店舗数			
県別	ホーム センター	ブック センター	合計
島根県	18	1	19
鳥取県	12		12
山口県	23		23
広島県	31		31
岡山県	13		13
兵庫県	11		11
京都府	6		6
和歌山県	6		6
奈良県	1		1
計	121	1	122

2025年2月期末(64期)
店舗数 **122店舗**
(うちBC1店舗)

売場面積 **254,061m²**



2025年2月期 業績の概況

- 春先の低温、天候不順、夏場の猛暑、秋の厳しい残暑、冬場は厳しい寒波に見舞われる等、気候変動による気象条件が売上動向に影響。
また物価上昇に伴う消費者の生活防衛意識はより一層高まり、客数の減少もあり、営業収益の増加までには至らず。
- 家庭雑貨・家庭電器については
 - ・夏場の猛暑と厳冬により季節家電は好調。
- 園芸農業については
 - ・農業機械等好調な分類がある一方、春先と秋の気候条件で前年より減少。
- 資材工具については
 - ・市況変化等の影響から、合板等の木材関連商品が伸び悩む。
- 趣味嗜好については
 - ・ペット用品も低価格志向が強まる。厳冬の影響で灯油は好調。

単位:百万円

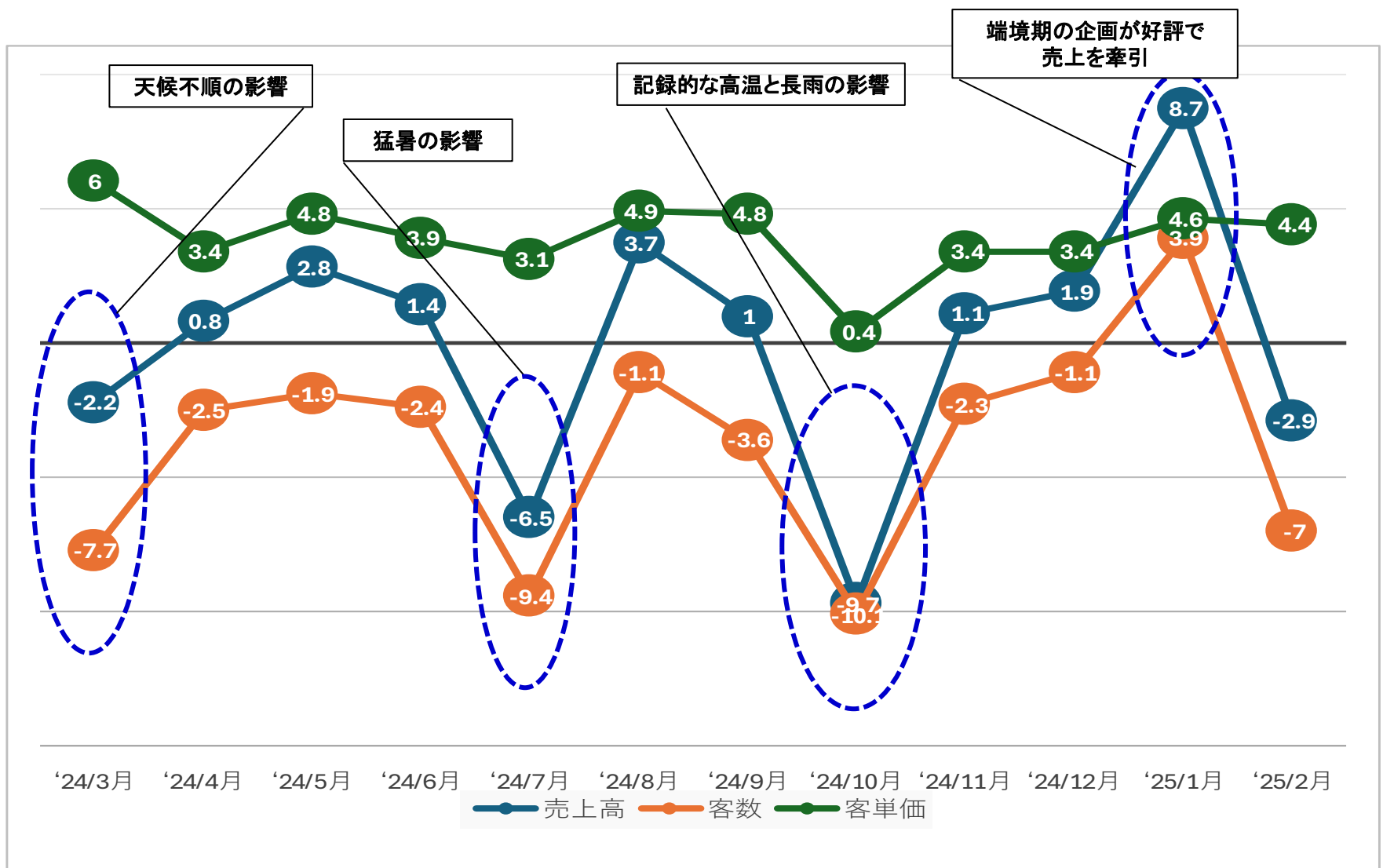
	2023年2月期(62期)	2024年2月期(63期)	2025年2月期(64期)	前年比
家庭雑貨・家庭電器	12,106	11,987	12,185	101.7%
園芸農業	11,867	11,969	11,845	99.0%
資材工具	12,227	11,917	11,845	99.4%
趣味嗜好(灯油含む)	7,807	7,947	8,033	101.1%
全部門計	44,010	43,823	43,909	100.2%

※各事業年度の比較のため、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値を記載しております。



JUNTENDO

2025年2月期数値 月別前期比較



季節要因などによる、売上高、客数、客単価の月別変動状況は以上のとおり。
上記数値は前年同期対比の増減率(%)

2025年2月期数値 前期比較

HC	売上高	客数	客単価	1品単価
全店	100.0	96.1	103.9	103.4
既存店	100.3	96.9	103.5	103.2

巣ごもり需要をピークとしてみたときから
減少の一途をたどる客数に対して、
値上げによる客単価の増加で売上高をキープし
ているのが現状となります。
客数対策が今後の課題となります。



損益計算書(1)

(単位:百万円)

損益計算書	2021/2期	2022/2期	2023/2期	2024/2期	2025/2期	前年比
営業収益	48,181	46,106	44,964	44,653	44,376	99.4%
売上高	46,370	44,334	44,057	43,764	43,482	99.4%
売上原価	32,647	31,439	30,856	30,920	30,576	98.9%
売上総利益	13,722	12,895	13,201	12,843	12,906	100.5%
売上総利益率	29.6%	29.1%	30.0%	29.3%	29.7%	101.1%
営業収入	1,811	1,771	906	888	893	100.6%
営業総利益	15,533	14,667	14,108	13,732	13,799	100.5%
営業総利益率	33.5%	33.1%	32.0%	31.4%	31.7%	101.1%
販売費及び一般管理費	13,253	13,433	13,201	13,413	13,327	99.4%
販管費率(対売上高比)	28.6%	30.3%	30.0%	30.6%	30.6%	100.0%
人件費	5,919	6,041	6,175	6,341	6,368	100.4%
広告宣伝費	663	711	377	393	386	98.2%
水道光熱費	465	452	610	628	629	100.2%
賃借料	2,530	2,521	2,558	2,509	2,497	99.5%
減価償却費	1,156	1,153	1,179	1,292	1,165	90.2%
その他経費	2,517	2,552	2,301	2,247	2,279	101.4%
営業利益	2,279	1,233	906	319	472	148.0%
営業利益率	4.9%	2.8%	2.1%	0.7%	1.1%	148.9%
営業外収益	72	102	89	80	81	101.3%
営業外費用	92	73	73	82	95	115.9%
経常利益	2,259	1,261	922	317	458	144.5%
経常利益率	4.9%	2.8%	2.1%	0.7%	1.1%	145.4%
特別利益	0	16	92	101	2	2.0%
特別損失	200	250	332	122	199	163.1%
税引前当期純利益	2,059	1,027	682	296	260	87.8%
法人税等(調整額含む)	687	420	299	107	107	100.0%
当期純利益	1,372	606	382	188	152	80.9%
当期純利益率	3.0%	1.4%	0.9%	0.4%	0.3%	81.4%

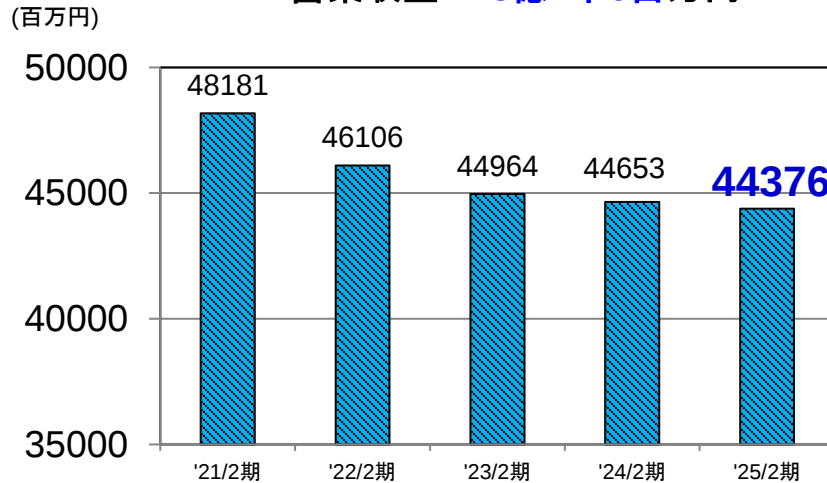
※2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。



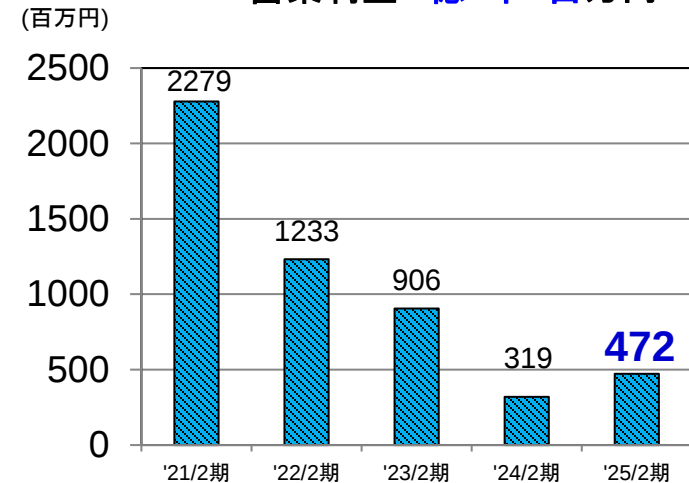
JUNTENDO

損益計算書(2)

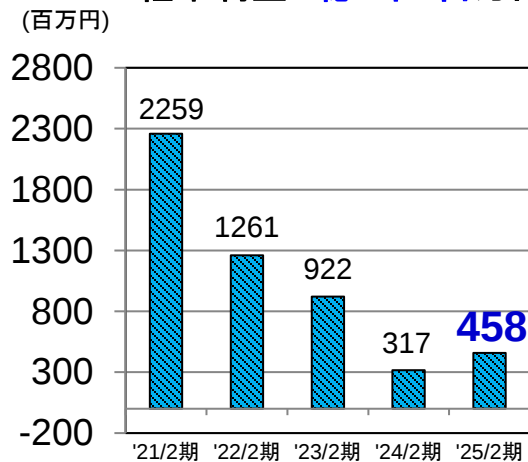
営業収益 443億7千6百万円



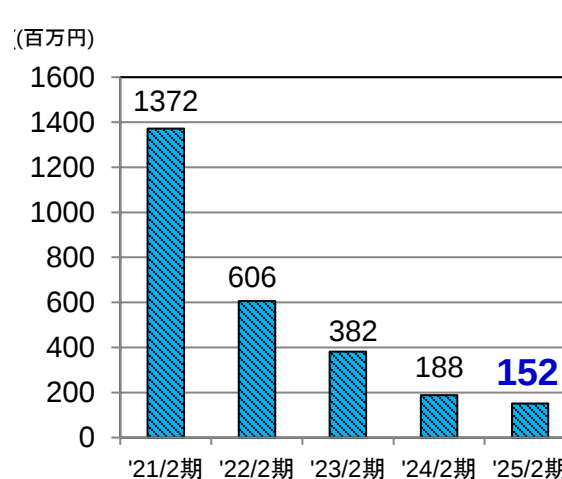
営業利益 4億7千2百万円



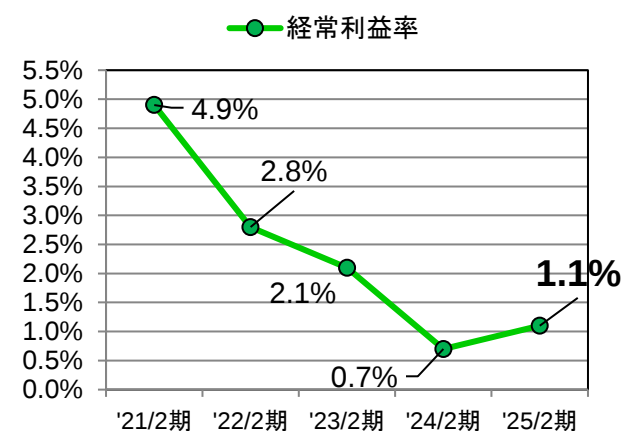
経常利益 4億5千8百万円



当期純利益 1億5千2百万円



経常利益率推移

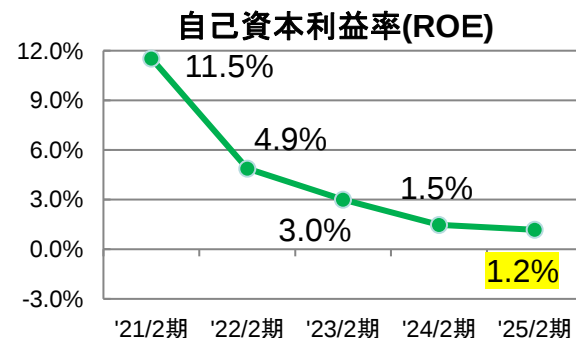
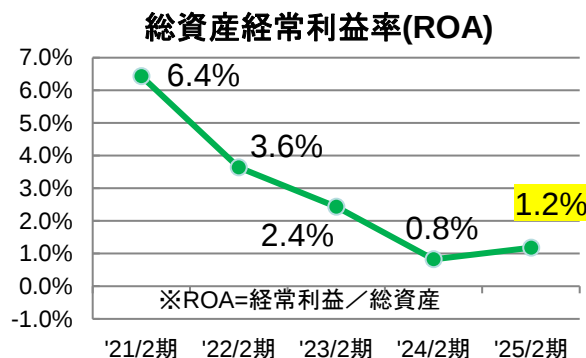
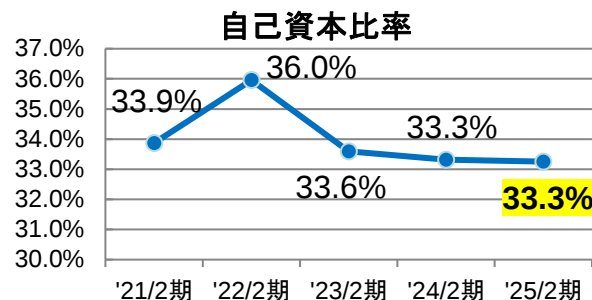


※2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。

貸借対照表

(単位:百万円)

貸借対照表	2021/2期 2021.2.28現在	2022/2期 2022.2.28現在	2023/2期 2023.2.28現在	2024/2期 2024.2.29現在	2025/2期 2025.2.28現在
流動資産	14,699	14,581	15,933	16,476	15,940
現金および預金	1,850	1,398	1,301	1,212	1,279
売掛金	271	231	313	383	379
商品	11,976	12,353	13,697	14,206	13,722
その他	600	598	621	673	559
固定資産	20,430	20,055	21,946	22,032	22,928
有形固定資産	15,947	15,687	17,323	17,051	17,573
建物等	9,110	8,817	9,789	10,154	10,188
土地	5,988	5,988	6,014	5,996	5,956
リース資産	273	191	173	100	64
その他	575	690	1,345	800	1,363
無形固定資産	407	273	307	322	296
投資その他の資産	4,074	4,094	4,315	4,658	5,059
繰延資産	-	-	-	-	-
資産合計	35,129	34,637	37,879	38,509	38,869
流動負債	12,406	11,304	13,065	13,095	13,269
支払手形・電子記録債務・買掛金	7,236	6,853	7,268	6,898	6,774
短期借入金	-	300	1,100	1,600	500
1年以内返済予定長期借入金	2,250	2,296	2,468	2,737	3,794
その他	2,919	1,855	2,228	1,858	2,200
固定負債	10,824	10,877	12,089	12,585	12,674
長期借入金	7,100	7,361	8,664	9,222	9,395
リース債務	231	146	127	74	52
退職給付引当金	2,409	2,375	2,344	2,372	2,301
その他	1,082	994	952	916	925
負債合計	23,230	22,182	25,155	25,680	25,943
純資産	11,898	12,454	12,724	12,828	12,925
資本金	4,224	4,224	4,224	4,224	4,224
資本剰余金	3,999	4,011	4,011	4,011	4,011
利益剰余金	3,787	4,272	4,494	4,561	4,632
自己株式	-116	-95	-95	-95	-96
その他	4	42	90	127	152
負債および純資産合計	35,129	34,637	37,879	38,509	38,869

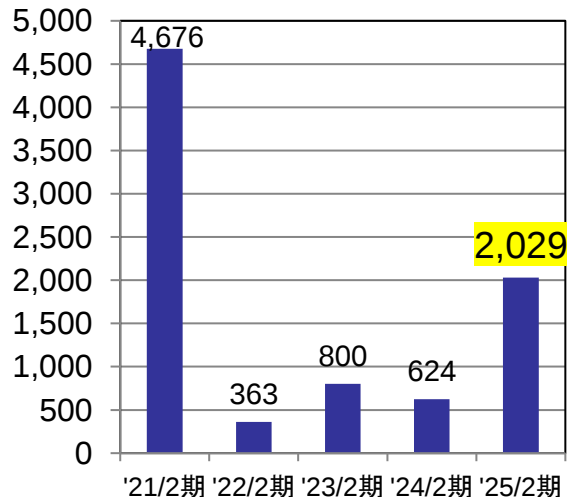


キャッシュ・フローの状況

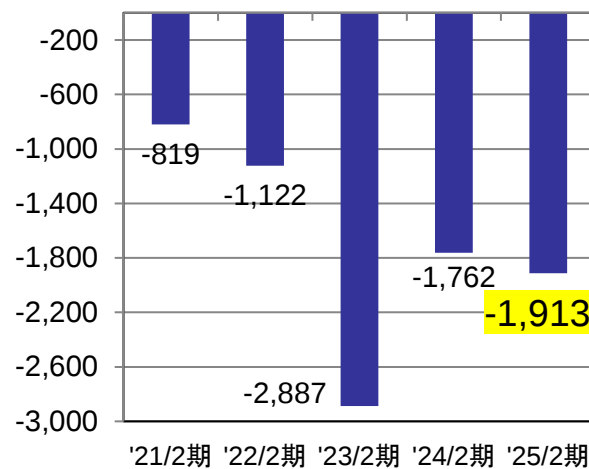
単位：百万円

	2021/2期 2020.3.1～ 2021.2.28	2022/2期 2021.3.1～ 2022.2.28	2023/2期 2022.3.1～ 2023.2.28	2024/2期 2023.3.1～ 2024.2.29	2025/2期 2024.3.1～ 2025.2.28
営業活動CF	4,676	363	800	624	2,029
投資活動CF	-819	-1,122	-2,887	-1,762	-1,913
財務活動CF	-3,763	306	1,989	1,049	-49

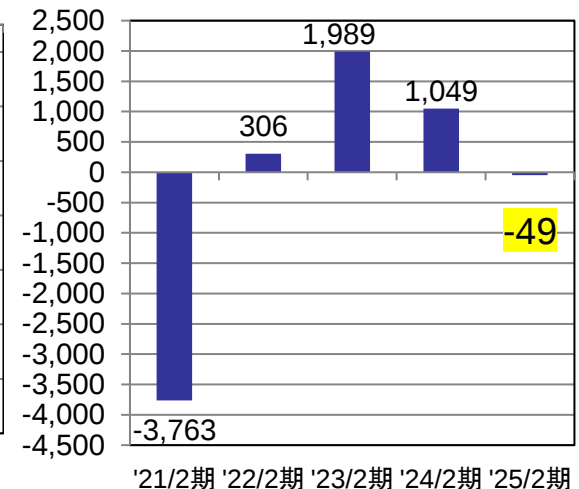
営業活動CF



投資活動CF



財務活動CF



部門別の推移(年間の推移)

単位: 百万円

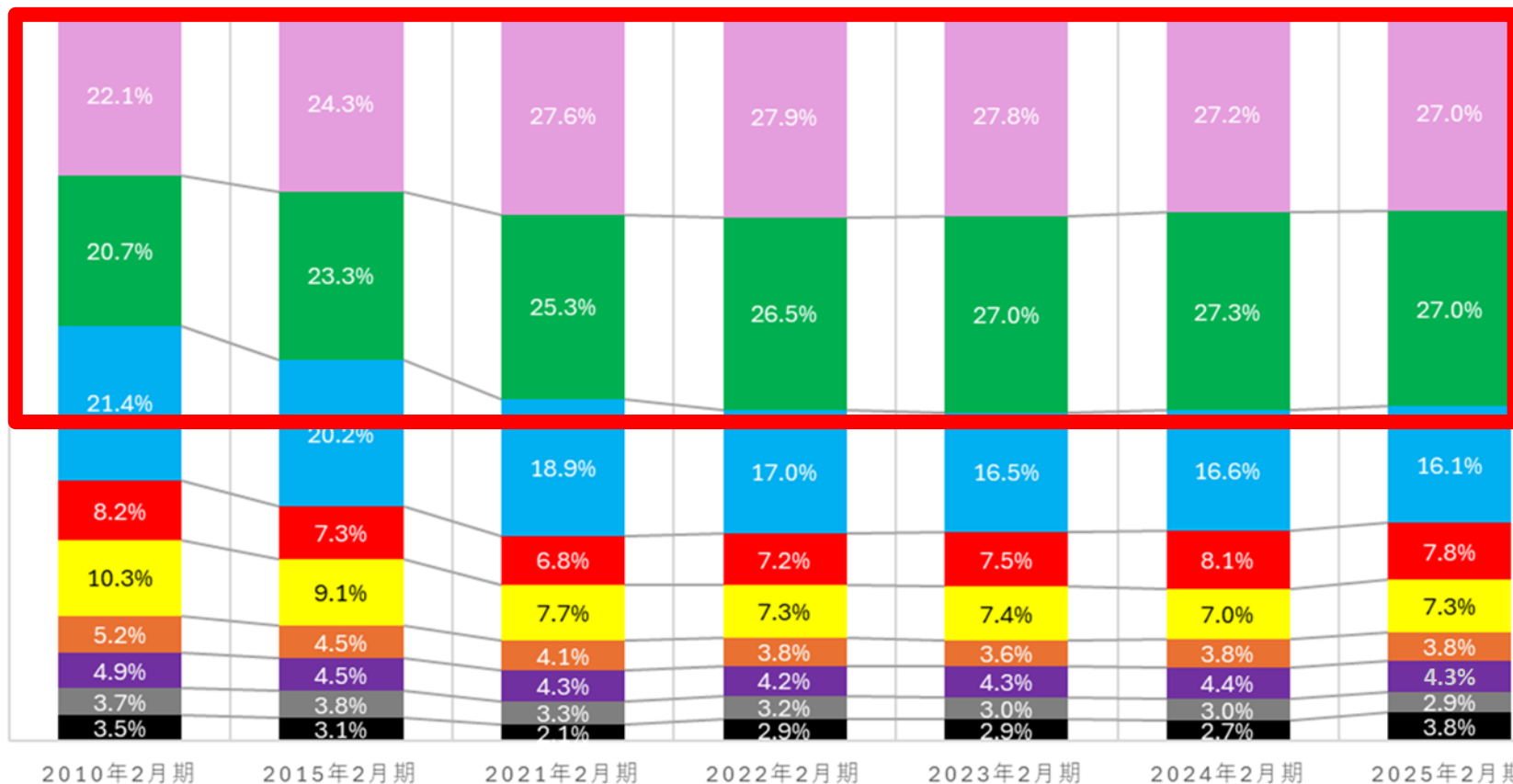
	2010年2月期(49期)		2015年2月期(54期)		2021年2月期(60期)		2024年2月期(63期)		2025年2月期(64期)		
日本DIY協会の分類	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	前年比
DIY素材・用品	9,368	22.7%	9,446	24.3%	12,479	27.6%	11,917	27.2%	11,845	27.0%	99.4%
電器	4,105	9.9%	3,534	9.1%	3,475	7.7%	3,049	7.0%	3,210	7.3%	105.3%
インテリア	2,315	5.6%	1,766	4.5%	1,858	4.1%	1,676	3.8%	1,662	3.8%	99.2%
家庭日用品	9,051	21.9%	7,850	20.2%	8,545	18.9%	7,262	16.6%	7,052	16.1%	97.1%
園芸・エクステリア	8,422	20.4%	9,044	23.3%	11,443	25.3%	11,969	27.3%	11,845	27.0%	99.0%
ペット	3,597	8.7%	2,829	7.3%	3,065	6.8%	3,531	8.1%	3,427	7.8%	97.1%
カー・アウトドア	1,987	4.8%	1,740	4.5%	1,943	4.3%	1,910	4.4%	1,910	4.3%	100.0%
カルチャー(文具・オフィス等)	1,344	3.3%	1,472	3.8%	1,473	3.3%	1,312	3.0%	1,278	2.9%	97.4%
その他(灯油・食品等)	1,148	2.8%	1,196	3.1%	966	2.1%	1,192	2.7%	1,675	3.8%	140.5%
ホームセンター売上高	41,341	100.0%	38,881	100.0%	45,251	100.0%	43,823	100.0%	43,909	100.0%	100.2%
ホームセンター荒利益高(率)	11,100(26.8%)		11,537(29.7%)		13,412(29.6%)		12,571(28.7%)		12,810(29.2%)		
ホームセンター店舗数	131店舗		133店舗		127店舗		125店舗		121店舗		
売場面積	63,968坪		71,826坪		73,565坪		76,699坪		76,494坪		
ホームセンター1店舗当たり											
売上高	3.15億円		2.92億円		3.56億円		3.5億円		3.62億円		
荒利益高	0.84億円		0.86億円		1.05億円		1.00億円		1.05億円		
売場面積	488坪		540坪		579坪		613坪		632坪		

※各事業年度の比較のため、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値を記載しております。



部門別構成比の推移

- その他(灯油・食品等)
- カルチャー(文房具・オフィス等)
- カー・アウトドア
- インテリア
- 電気
- ペット
- 家庭日用品
- 園芸・エクステリア
- DIY素材・用品



ハード部門+グリーン部門 構成比 42.8%(2010年2月)から**54.0%**(2025年2月期)に

部門別構成比 他社比較

ホームセンター22社平均と当社の部門構成比比較 日本DIY協会調べ

2025年2月期	HC22社平均 構成比	うち当社 構成比
DIY素材・用品	29.6%	27.0%
電気	7.7%	7.3%
インテリア	6.0%	3.8%
家庭日用品	17.9%	16.1%
園芸・エクステリア	15.1%	27.0%
ペット	8.9%	7.8%
カー・アウトドア	5.4%	4.3%
カルチャー(文房具・オフィス等)	2.5%	2.9%
その他(灯油・食品等)	6.9%	3.8%
合計	100%	100%

農業・園芸部門が他社と比較して10%以上高い

2025年2月期 出店等の状況

新規出店

店名	所在地	開店時期	売場面積
萩店	山口県 萩市 土原457番地2	11月	1,601坪 (5,293㎡)

閉店

7店舗(内BC2店舗)

改装店

甲山店

期末店舗数

店舗数	店舗数増減	総売り場面積	売場面積の増減
122店 (うち、HC 121店 BC 1店)	6店減	254,061㎡	-3,217㎡減

2025年2月期出店店舗 萩店(1)

■新店

萩店

5,293m²

山口県 萩市土原
2024年11月開店



2025年2月期出店店舗 萩店(2)

- ・約35年営業を行ったジュンテンドー東萩店の後継店。
西舞鶴、茶屋町に次いで当社3番目の売り場面積となる。(2025年2月現在)
- ・国道191号に隣接し、萩市中心部に位置。食品スーパー等とモールを形成。
プロニーズに応える資材館ハイブリッド型の店舗。



周辺地図

2026年2月期 業績予想

単位：百万円

	2025年2月期実績		2026年2月期予想			
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計		通期予想	
			予想	増減率		増減率
営業収益	23,574	44,376	23,600	0.1%	44,500	0.3%
営業利益	845	472	560	-33.7%	480	1.5%
経常利益	841	458	500	-40.5%	400	-12.7%
当期純利益	558	152	300	-46.2%	100	-34.5%

2026年2月期 業績予想（経営環境）

雇用・所得環境の改善などにより緩やかに回復が続き、金融政策も正常化に進む。

生活必需品やエネルギー価格は高止まりしており、消費者の生活防衛意識は高まった状態が継続。

小売業においては、人件費や建築資材などの高騰により利益を圧迫する状態が継続。

2026年2月期の取組み

1

・既存小型店の大型店化をすすめ、より生産性の高い店舗への転換を継続（新店1店、改装1店）

2

・兵庫県の物流センターを更新・増強し、効率化を図るとともに、「物流コスト」「作業コスト」の改善に取り組む。

3

・JAとの業務提携を拡大し、中長期的な企業価値の向上を図る

事業年度別規模別売上推移

(百万円、店)

	45期(2006年2月期)			50期(2011年2月期)		55期(2016年2月期)	
	売上高	売上構成比	店舗数	売上高	店舗数	売上高	店舗数
400坪未満	17,624	44%	93	13,315	71	9,140	61
400～800坪未満	13,326	33%	35	15,888	43	16,496	47
800坪以上	9,430	23%	15	11,382	19	13,053	24
HC合計	40,381	100%	143	40,586	133	38,691	132

	60期(2021年2月期)		63期(2024年2月期)		64期(2025年2月期)		
	売上高	店舗数	売上高	店舗数	売上高	売上構成比	店舗数
400坪未満	8,015	50	7,415	50	7,157	16%	46
400～800坪未満	17,756	45	17,185	44	17,131	39%	43
800坪以上	18,237	30	19,222	31	19,620	45%	32
HC合計	44,010	125	43,823	125	43,909	100%	121

収益の柱は、400坪未満から800坪以上へ

※上記店舗数は各期末現在のものとなります



ホームセンター店舗の再編

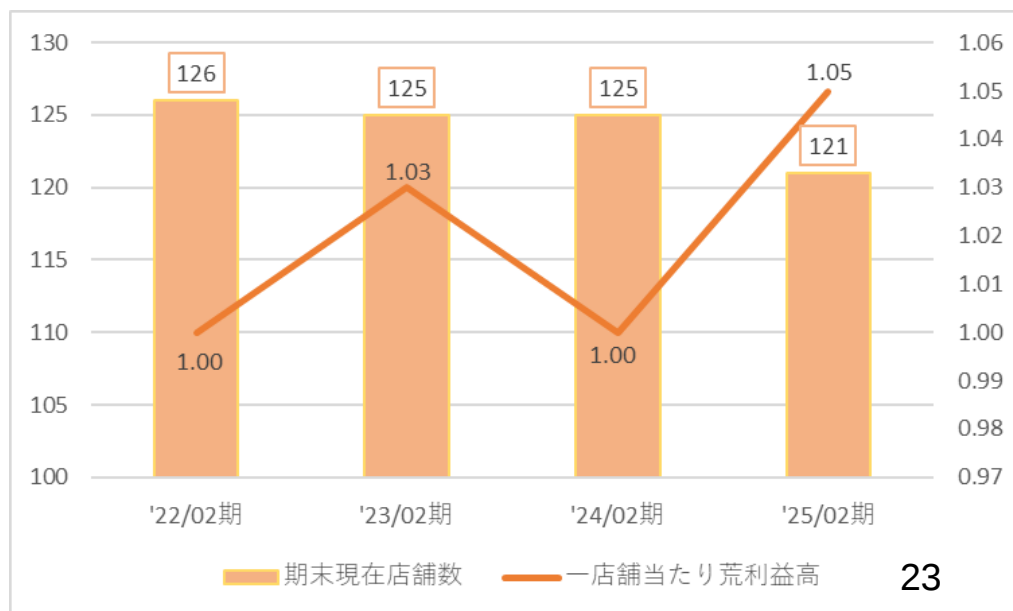
この3年間で、収益力が低下し、不採算となっている
小型店を中心に10店舗以上の閉店に着手。

一方、専門性の向上およびスケールメリットを生かすため、
大型化を図り、**800坪以上の新店7店舗の開店**を実施。

この結果、
期末現在店舗数は
減少しておりますが、
一店舗当たりの稼ぐ力
は伸長。

(単位:店)

(単位:億円)



2026年2月期の出店

2026年2月期の開店店舗

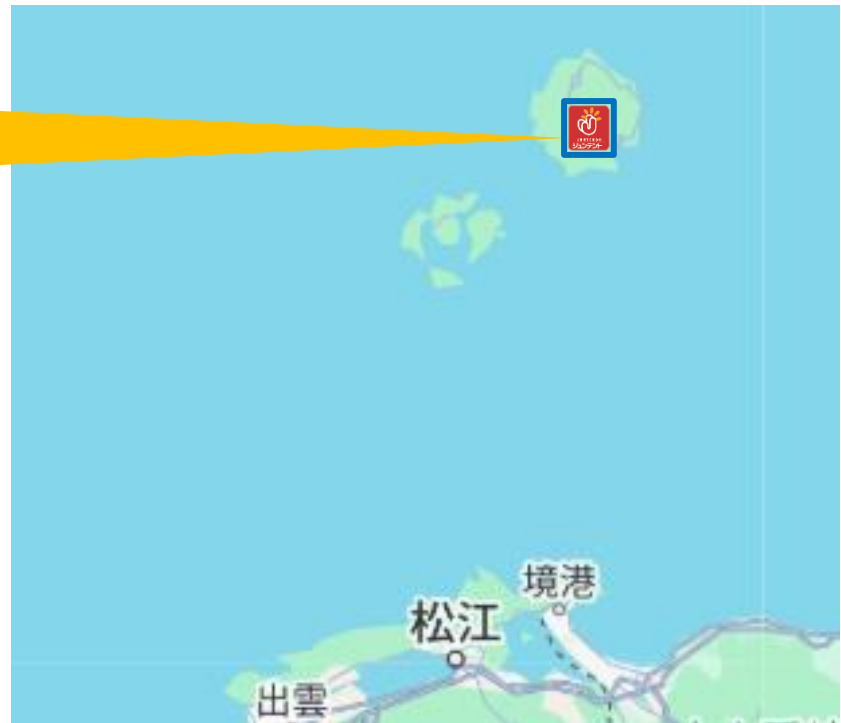
■新店

西郷店

3,899m²

島根県隠岐の島町

2025年4月開店



2026年2月期出店店舗 西郷店

- ・約37年営業を行ったジュンテンドー西郷店を移転増床。
- ・旧店から約200mのショッピングモール「ひまりタウン」内に出店。
- ・隠岐の島町中心部を通る国道485号線沿いに位置する。
- ・JAしまねとの業務提携事業によるJAマーク品取扱い店舗の6店舗目。
今回は新店での初めての開設となります。



周辺地図

物流体制の再構築

小野センターの新設

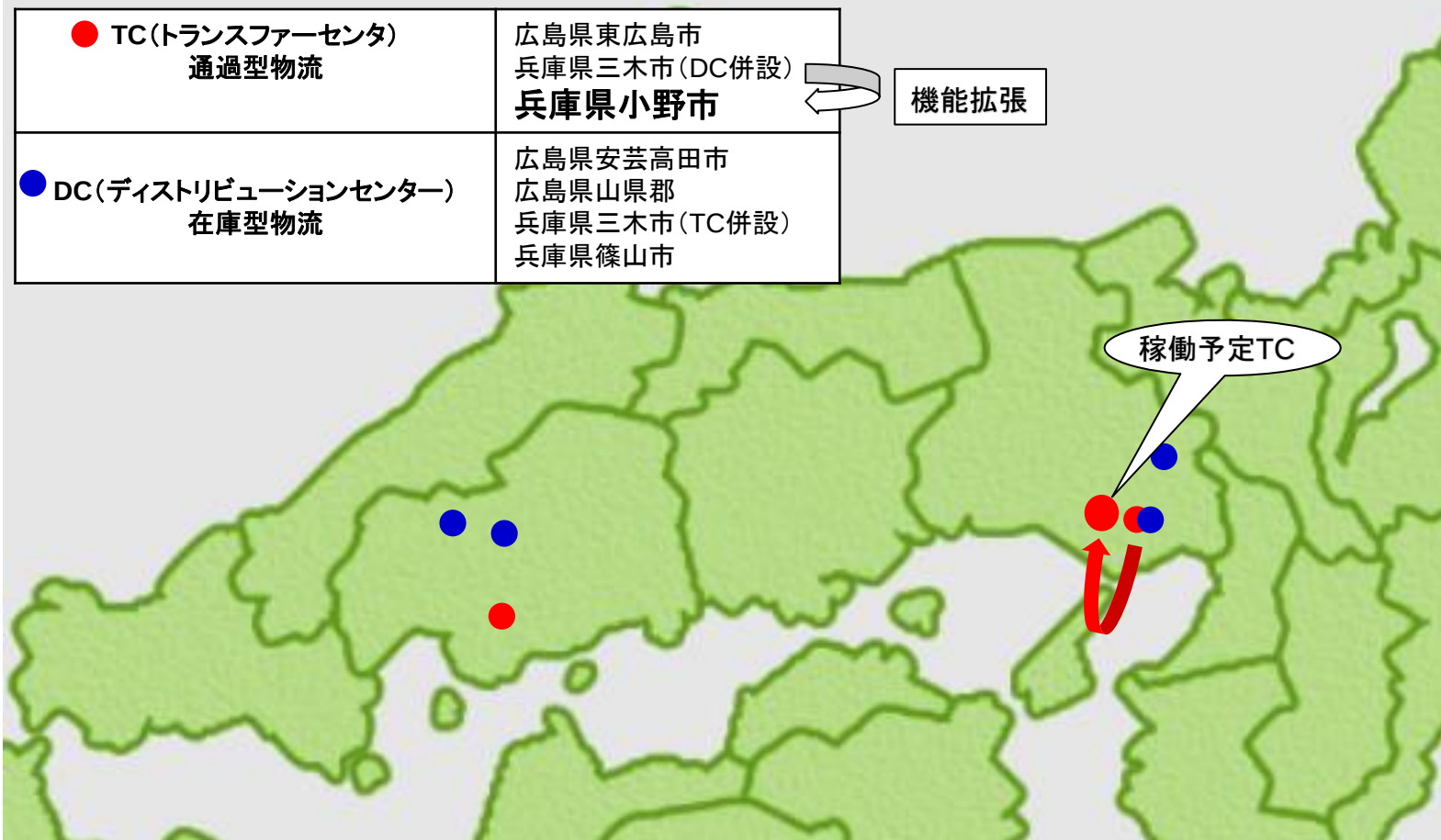
- ・兵庫県小野市に物流センターを新設
- ・当社の鳥取県・岡山県以東の店舗への配送を担うトランスファーセンター(TC)として稼働予定。
- ・現在、三木市にある三木センターの機能を小野センターへ拡張し、店舗に対するサービスレベルの向上を図る

※TCは、取引様から入荷した商品を、検収、店別仕分をして各店に配送するセンター。現在、広島、三木の2センターから総仕入高の58%の商品が、店舗に納品されている。



物流体制の再構築

当社の物流体制網



物流体制の再構築

三木DCの強化

- ・現在の三木センターは小野TC稼働後はDC（在庫型センター）専用として大きな役割を担うセンターとなる。
- ・これにより三木DCの保管容量は、現在の2.5倍となり、より効率的な物流体制が構築できる。
- ・また、輸入商材の仕入が大幅に増やせる物流体制になる。



物流体制の再構築

今後の物流の方向性

- ・ここ数年の商品の大幅な値上がり、インフレの継続で、お客様の低価格志向、コスパ感覚は、より顕著になっている。
- ・そのため、生産地、製造メーカーから店舗に届くまでのコスト＝「**物流コスト**」、そして売場に陳列されるまでのコスト＝「**作業コスト**」をいかに削減していくかがカギ。

物流体制の再構築

今後の物流の方向性

能力、保管容量の高まったTC、
DCの活用で、「**物流コスト**」「**作業コスト**」の削減、改善に取り組む。

JAとの業務提携の拡大

JAしまねとの業務提携のスタート

2024年3月28日にJAしまねの本部で調印式を行う。

現在、江津店、浜田店、川本店、大田店、神西店、西郷店の6店舗でJA商品の販売が可能に。

JAしまね・株式会社ジュンテンドー 業務提携契約調印式



JAとの業務提携の拡大

JA全農、JA全農ひろしま、JA広島市との業務提携のスタート

2024年9月18日にJA全農との包括連携協定、並びにJA全農ひろしま
JA広島市と売買取引契約を調印。

現在、戸河内店、沼田店、芸北店でJA商品を販売。



JAマーク商品販売店舗の拡大

提携の狙い(ジュンテンドーのメリット)

① これまで、一般の小売店では販売できなかったJA商品が提携により販売できることに。

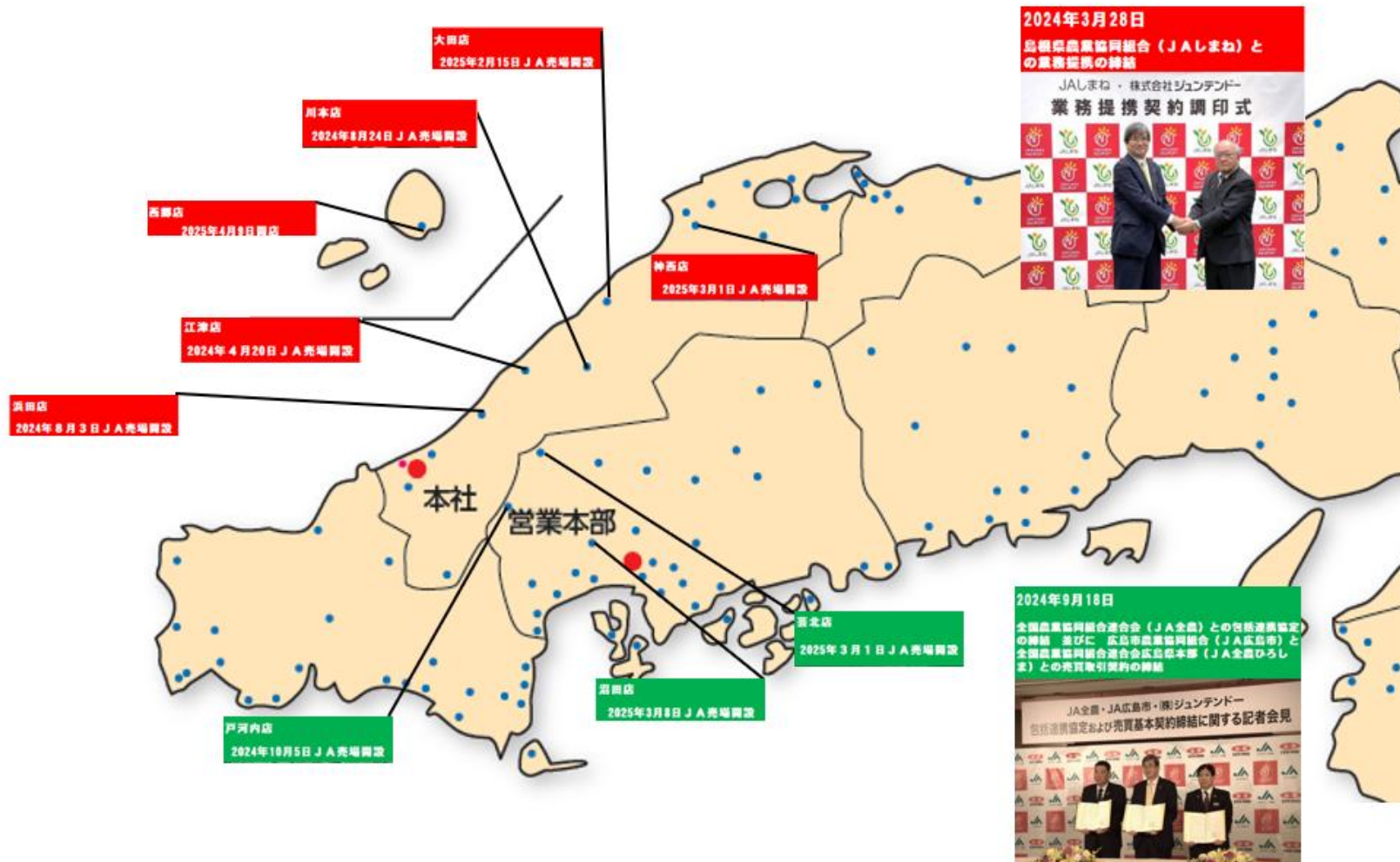
JAが「稲作ごよみ」に載せている肥料や農薬が販売できる意義は大きい。

② 農家に支持される品質と信頼性を備えたJA商品を扱うことによる当社ロイヤリティの向上。

より専門性の高い顧客層へアプローチ。

JAマーク商品販売店舗の拡大

JAマーク商品販売店舗は現在9店舗



農業関連サービス、各種資格取得の推進(1)

資格名	64期人数 (2025年2月期)	54期人数 (2015年2月期)	64期/54期
毒劇物取扱者	195名	150名	130%
グリーンアドバイザー	96名	32名	300%
DIYアドバイザー	216名	118名	183%
自転車安全整備士	233名	171名	136%
危険物乙4種	329名	261名	126%

各種資格取得を推進。地方都市、中山間地、離島のなくてはならないインフラを目指すには、こういった資格をもつ社員は大切な経営資源。資格取得の推進をさらに加速させます。



農業関連サービス、各種資格取得の推進(2)

● サービス店舗

サービス	店舗数
毒劇物取扱店舗	59
園芸機械修理ピット※	69
除雪機取扱店舗	39

● 新規資格取得者推移

種類	2023年2月期	2024年2月期	2025年2月期
DIY資格	23名	25名	24名
自転車資格	12名	11名	8名
毒劇物資格	2名	5名	11名
グリーンアドバイザー	14名	25名	18名



- ・各店に交換用パーツを品揃え
- ・即日から3日間程度で修理対応
- ・年間修理件数22,000件



当社の中長期的な取組み

- 農業分野・ハード分野を主力に位置付け
品揃え、売場づくり、売価政策の改革に取り組み、
サービス強化で、店の競争力を高める。



- 売上拡大、利益確保
 - ◎ 出店、既存小型店の更新による売上拡大
800坪以上の出店に集中
 - ◎ 園芸農業・資材工具を主力に競合との
差別化

株主優待、配当の状況(予想)

● 株主優待

権利確定日(毎年2月末)時点で1年以上継続して当社株式**100株**以上を
ご所有の株主様に、QUOカード(クオカード) **1,000円**分を贈呈

● 配当の状況(予想)

	2026年2月期予想
1株当たり年間配当金	10円00銭

● 配当利回り (1株当たり年間配当 ÷ 株価 × 100)
1.98% (2025年4月4日終値505円で算定)

● 配当性向 (64期配当予想額 ÷ 64期純利益 × 100)
53.1%



最後までご清聴いただきまして
誠にありがとうございました。

問合せ先責任者
常務取締役 管理本部長
尾原 司
(TEL 0856-24-2400)